



11月15日21時  
月は描いていません

夕焼けの南西の空には金星と木星が目立ちます。中旬は右下が金星、左上が木星ですが、下旬に入れ替わり、金星が左上になります。金星と木星の左上には土星も見えます。

午後7時頃にはすっかり暗くなり、西の空には夏の大きな三角が見えます。3つの1等星は、**こと座**のべが、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。デネブは尾という意味です。夏の大きな三角といいますが、毎年、年末まで日没後の西の空に見えます。

頭上には秋の四辺形が見えます。四辺形を胴体、四辺形の右側の星から「へ」がさかさまになったようにならぶ星を首と頭にする、空飛ぶ馬の星座**ペガサス座**です。ペガサスの背中からおへそに線を引きそのままのばすと、W型の**カシオペヤ座**と**ケフェウス座**をとおりすぎた先に北極星が見つかります。秋の四辺形から続くAの字が横になったように**アンドロメダ座**、その先には**ペルセウス座**があります。秋の四辺形の西(右)側の線を南にのばすと、秋の星座の中でたった一つの1等星**みなみのうお座**のフォーマルハウトです。フォーマルハウトと秋の四辺形の間には**みずがめ座**があり、右に向かうと**やぎ座**、左に向かうと**うお座**、**おひつじ座**、**おうし座**、**ふたご座**と続きます。東の空にはこの他に、冬の星座の**ぎょしゃ座**や**オリオン座**も上っていて、冬も間近です。